

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	いちはん星	公表日	令和 7年1月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		自ら整理・整頓出来るようロッカーやハンガーなどには、各自の名前や顔写真などが貼られており、玩具入れなどにも、写真で入れる容器や場所を提示している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		朝は職員がトイレ・支援室などを清掃し、使用した用具やうがい用のコップなどを消毒している。退所前は利用児も参加し、室内清掃が習慣化している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		着替えや個別での対応時（宿題や創作活動など）は、相談室や和室など利用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		日々の申し送りや振り返り・翌月の予定を決める際など、職員間で会議をしている。	休暇明けの職員に伝え忘れないようにする。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価を行っていない。	小規模事業所のため、義務化しない場合は難しい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		虐待防止研修・強度行動障害研修・スキルアップ研修など、外部研修への参加を奨励しており、参加者が年々増えている。	外部研修の情報を見逃さないようにしている。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		毎月の予定表や支援プログラムをホームページで公表している	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		日々の支援内容を日誌に記載し、個別支援計画作成前に支援の経過をまとめ、迎えの際などに家族からニーズ・課題を聞き取り、次の支援計画に反映させている。	アセスメントをとる時期を過ぎないように定期的に確認する。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援者全員が個別支援会議に参加し、原案に対する意見や今までの支援方法・内容の課題や、利用児の今後の課題などを話し合っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		日誌に個別支援計画の実施状況を記入する欄があり、毎支援ごとに記入するようにしている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>	標準化されたツールは使用していないが、これまでの経験値で独自にアセスメントを行っている。	今後もどのようなアセスメントツールが適しているか検討していく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			

支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		複数の職員で話し合いながら行っている。また、集団活動が苦手な利用児が参加しやすい活動の考案など、日々の観察を通して計画立案している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		開始前に前日の申し送りや振り返り、課題活動の際のポイントや役割などを話し合うようにしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		活動前に必ず前日の振り返りをし、利用者の様子を職員で共有している。	支援終了後に時間をとることができないため、翌日まで記憶を留めておく工夫が必要。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動への参加・不参加や、間食時の菓子の選択など、選択肢を増やし自己決定できるように工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		市の相談係への発達相談や担任教諭と課題等の共有を行い、支援方法を相談している。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校迎えの際や支援会議の際などを利用し行っている。また、事業所での様子や日々の支援の相談なども適宜行うようにしている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		保育園を見学させてもらい、情報共有している。今年度は就学前の利用児がいない為、実施していない。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		卒業前のサービス担当者会議や移行支援会議等に児発管が参加し、情報提供している。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		研修等の案内には参加を検討しているが、どのタイミングで相談すべきか悩むことがある。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		保護者の要望がなく、交流については各学校でもしているので、判断に迷うところだ。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		自宅送りや退所時の迎えの際の申し送りを利用し、一日の様子や気になるところを伝え、共有できるように努めている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		ペアトレ研修等は、法人・事業所が主体として行つてはいないが、関係機関等の研修を掲示し、情報提供している。	興味を示す保護者が少なく、どういうものか示すのが先になる。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		利用契約の際に説明を行っており、閲覧可能な冊子を用意してある。	保護者が説明された内容を理解しやすい、忘れないようにするために、文書をわかりやすいものにする必要がある。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		送迎時の申し送り、電話での対応もしており、必要に応じて、面談なども実施している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		父母の会は解散しており、就労している保護者も多く、日中に開催しても参加者が少ないため、開催する場合、時間等の検討が必要となる。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情窓口担当を設置している。また、匿名での投書が出来るように、意見箱を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月の予定表に前月の様子などを紹介する記事を掲載し、配布している。HPにも掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報が記載されている書類などは、施錠できる書庫に保管している。持ち出しが必要な場合は管理者の許可を必須としている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		必要な項目を文字化し、説明している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		コロナ以降は行っていない。一度休止すると再開するにはかなりの労力を必要とするため、職員の負担が増大する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		簡易版を配布・提示している。	各学校のマニュアルを集めきれていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		定期通院毎に、服薬変更の確認を行い、服薬情報を共有している。	保護者から積極的に伝えてもらえるように声掛けをする必要があるが、通院に気付かないと抜けてしまうことがある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		現在医師の指示書を必要とする利用時がいいため行っていないが、今後必要に応じて対応する。	利用開始前のアセスメントで情報収集している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット報告書を作成し、その日のうちに周知し、対策を講じるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		自立支援協議会の虐待研修等、職員全員で参加した。	日頃から話題に出せるような環境を作ることを心掛ける。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		行動制限などの同意書を得て、個別支援計画に記載している。	